

うりずんとは…「潤う」と水が土にしみとおる「染む」からなる言葉で、沖縄の若夏をあらわします。さわやかな南風が吹き、野山は緑にあふれます。うりずんのようにやさしい風に包まれて、ゆったりとした時間を過ごしていただきたいという思いから名付けられました。

ご報告 **うりずん学習会2012冬**

「重い障がいのある子どもの自立」

独立行政法人福祉医療機構(WAM)
社会福祉振興助成事業



みんなで、ラ〜!

2012.12.2(日) 学習会第一部では、講師：李国本修慈さんに兵庫県からお越し頂き「重い障がいのある子どもの自立」のテーマのもと学習会が開催されました。

国本さんは、2003年「有限会社しえあーど」[NPO 法人地域生活を考えよーかい] を設立し、24時間365日の生活支援事業を実施しています。「有限会社しえあーど」では居宅介護(重度訪問介護・行動援護・同行援護を含む)、短期入所、特定指定相談支援、日中一時支援、移動支援、訪問看護ステーションを運営・実施し、「NPO 法人地域生活を考えよーかい」では自費サービス(1,000円でなんでもします)移送サービス、イベント・フォーラム開催、研究事業等を行っています。

学習会開始早々に「私は在日ラー星人なんです」と穏やかに語り始めました。初めてお聞きした、ラー星人にキョトンとしている間もなく、お一人お一人のスライド写真を温かい眼差しで紹介して下さいました。時折、冗談やだじゃれを交えながらの学習会は、とても和やかな雰囲気のまま進行していきました。



講師：李国本 修慈さん

スライド写真の中に一人の若い男性が写っていました。その方は、母子で生活されていましたが、お母様が世界され頼れる親戚もなく施設に入所するしかないといった状態でした。しかし、国本さんは、

話を進めようとする市の職員にストップをかけました。「この子は施設に入ることを望んでいるのか」と。結局、その方は「しえあーど」で生活することになりました。

さて、「しえあーど」の意味は、「シェア」から「分かち合う」ということで、その事を理念にこれまで活動なさっています。そのほか、2000年に設立した生活支援事業所「地域共生スペースぷりぱ」(現在は社会福祉法人)の

意味は、「ぷり」は「根っこ」、「ぱ」は「派」=「仲間」というような意味で、「地域で共に暮らしていく(共生)」理念の原点があります。命名した意味からも、国本さんのお人柄が想像つくようです。

*

学習会第二部では、模擬ケース検討会を行いました。

講師の国本さんに模擬ケース事例を用意していただきました。宇都宮市保健福祉部障がい福祉課相談支援グル



模擬ケース検討会

ープ係長の島田一さん、栃木県障害者相談支援協働コーディネーターの渡邊太樹さん、講師の国本さんと一緒に栃木県ではどうしていくのか、宇都宮市ではどんなことが出来るのか…を考えていきました。参加していただいた方々からも、「自分だったらまず〇〇する」「〇〇できるといいけど、現実には希望通りにはいかないかも…」等、様々のお立場からの意見がありました。

今回の事例を討論していくなかで、地域によって差はまだあるものの、考え方は同じ方向を向いていると感じました。とても有意義な時間を過ごす事が出来ました。

遠方からお越し頂いた講師の国本さん、アドバイザーの島田さん、渡邊さん、本当にありがとうございました。当日、ご参加いただきました皆様とご尽力頂きました皆様にご心より御礼を申し上げます。(古橋芳子・齋藤志津香)

◆ ◆ ◆ 学習会担当スタッフより ◆ ◆ ◆

WAM事業での第2回目うりずん学習会・2012冬が無事開催できました事を改めて感謝致します。学習会前日には、開催地・宇都宮では雪景色に見舞われ、不安がよぎりながら準備に追われました。当日は冬の晴れ間の良い天気の中開催する事が出来ました。

講師の方の洒落満載の楽しい学習会。アドバイザーの方々の話す宇都宮市の現状と対策。講師・アドバイザーの方々、当日は、京都や宮城など遠方からもご参加頂きました全ての皆様にご深く感謝致します。ありがとうございました。

(古橋芳子)

ご挨拶

2013年
年頭にあたって

特定非営利活動法人うりずん
理事長 高橋昭彦



明けましておめでとうございます。
昨年は格別のご支援、応援を賜り、
誠にありがとうございました。
今年もよろしく願い申し上げます。
2013年 元旦

認定NPO法人へ

2012年3月に誕生したNPO法人うりずんは、同年4月末で初事業年度を終え、現在2事業年度中です。2013年4月末で2事業年度が終わり、情報公開、ご寄附3000円×100人×2年度などの条件がクリアできれば、認定NPO法人の申請をすることができます。認定NPOとなれば、ご支援いただく皆さまには税制上の優遇措置を受けていただくことができます。

地域での自立とは

WAM助成事業の2回目の講師、しゅあーどの国本さんの話は格別でした。「関西ならココで笑ってくれる」と解説をして関東でも笑いをとるノリで、次々と利用者さんとの笑顔の写真が出てきます。同じ目線で関わる国本さんだからできることなのでしょう。親がいなくなったら施設、と誰もが思いがちな重い障がいをもつ子どもを目の前に、皆を集めて「本当にこの子は施設に行きたいと思うてるんか!」と活を入れ、結局その子は施設を断ってしゅあーどに住むようになります。それを可能にしているのが、24時間365日の生活支援に取り組んできた実績と人材です。こうすれば、わが家でなくても、わが地域で暮らせるという希望が膨らんだ一日でした。

うりずん役員紹介



- 名前：秋山 をね (あきやま・をね)
- 経歴：慶應義塾大学卒業、青山学院大学にてファイナンス修士取得。米系証券会社での勤務の後、(株)インテグレックスを設立、代表取締役に就任。事業を通じて社会に貢献する企業の支援を行っています。
- 尊敬している人：他人に尽くすことに一生懸命な人
- 休日の過ごし方：掃除洗濯炊事整体
- うりずんに対する思い：友人(柚崎理事)を通じてうりずんを知り、その理念と活動に共感しました。微力ながらも、うりずんの持続的な活動の役に立ちたいと思っています。

大切な仲間とのコラボに感謝!

WAM助成事業のクリスマス会は、子どもと家族に関わる3つのNPOが集まりました。ライフさんは小山を中心にDV(ドメスティック・バイオレンス)被害者の支援を、だいじょうぶさんは日光を中心に、子育てに社会的支援が必要な家庭のサポートをされています。それぞれ環境は違いますが、お互いを感じるものがあつたのではないかと思います。皆でクリスマスを楽しめ、という呼びかけに応えてくださった皆さん、たくさんのご支援をくださった皆さん、本当にありがとうございました。

人事について

2008年の立ち上げから4年間、うりずんの中心として活動してきた三上綾子看護師が、2012年12月末に退職されました。ご尽力に心より感謝致します。三上看護師の理事退任に伴い、原澤直人理事が就任しました。

この機会に人事体制を見直しています。スタッフの負担軽減と事務作業のレベルアップを目的に非常勤事務職として原澤素子を雇用しました。この1月には介護職が入職予定です。看護師・介護職も引き続き募集中です。今後は、常勤の山元朋子と齋藤志津香を中心に、新しい人材を育成しつつ、業務に取り組んでいく所存です。ご理解、ご指導のほどお願い申し上げます。

うりずんの運営方針とスタッフの目標

今年のうりずんの運営方針は、以下の通りです。

- ・日中一時支援(レスパイトケア)の質の向上
- ・居宅介護(ホームヘルプ)の拡充
- ・ケアのできる人材の育成
- ・訪問看護と相談支援の準備
- ・助成金の申請と寄附の呼びかけ

今年のスタッフの目標は、以下の通りです。

- ・ご利用者本位を貫き、日々のケアを徹底して行います。
- ・どんな業務も、他人ごとにせず、当事者意識を持ってやっています。
- ・スタッフが皆で助け合い、目標を達成していきます。

おわりに

今年は、目の前の必要なことにしっかり取り組みながら、認定申請を行い、組織運営と人材育成の仕組みをつくっていく大切な年です。変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日中一時支援事業(レスパイトケア)
サービス提供責任者 山元 朋子



皆 様こんにちは。寒の入りも過ぎ、いよいよ寒さも本番ですね。こちら宇都宮も底冷えのする毎日ですが、皆様お変わりありませんでしょうか？

う りずんで大事にしていることは、「レスパイトケア=ご家族も利用者様も楽しく休息をしましょう!」です。利用者様には心身ともに笑顔でお帰りになって欲しい、大袈裟かも知れませんが、これが私たちの信念でもあります。

先日行われた「うりずん学習会」の後、様々な分野でご活躍されている関係者の方々とお話をする機会がありました。そこで某大学の准教授と講師の方々とは遊びについて語ることができました。もちろんその方々は遊びのプロです! 私たちが遊び方に悩んでいたら・・・悩まなくていいんですよ。悩みながら遊んでいても子どもたちはつまらない、職員が楽しく笑顔でいられれば、どんな遊びでも良いのです。それだけで子どもたちは楽しくなるんですよ」と、アドバイスを頂きました。

へ〜と聞いておりましたが、本当にそうなのですね。私たちが日々の業務に追われて眉間にしわを寄せていたら、利用者様は「・・・(なんか空気悪いな〜)」と困った表情をします。私たちが世間話などで声を出して笑っていると、利用者様と一緒に

大笑いをしてくれます。もちろん遊びの内容は日々向上を目指していますが、私たちが笑顔でいることが一番大事なんですよね!! そんな当たり前の事を再認識させて頂き、とっても温かい気持ちになりました。

う りずんの介護スタッフは一生懸命医療的ケアを勉強し、実施してくれています。もうすっかりベテランな方もいますが、ここまでの道は決して平坦ではなく、怖い思いもたくさんしたことと思います。怖いと思うことはとても大事なことです。うりずんでは「楽しく休息」がモットーですから、そのような中でも職員は楽しい雰囲気作りを心掛けていかななくてはなりません。もちろん、職員自身が意識的でも良いので笑顔になると、気持ちも安定しますよね。

とっても大変な仕事ですが、私たちの「がんばる」は「顔晴る」です。皆様の顔が晴れるように一生懸命になろう!!、そんな気持ちを大切に、2013年も進んでいきます!

日中一時支援事業

●平成24年10月~12月のご利用状況 (人)

10月	11月	12月	合計
66	51	70	187

* いずれも延べご利用人数です

●平成24年10月~12月の来所状況 (人)

	10月	11月	12月	合計
見学者	0	0	1	1
ボランティア	0	0	2	2
計	0	0	3	3

●現在の登録状況.....23名

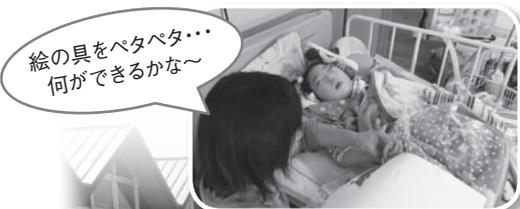
* 登録ご利用者の年齢.....0歳~19歳
* 現在契約準備中の方.....0名

居宅介護事業

●現在の登録状況.....3名

* 現在契約準備中の方.....0名

※詳細につきましては、ひばりクリニックHP「うりずん活動報告書」をご参照ください。



上映会のお知らせ

普通に生きる

<http://www.motherbird.net/~ikiru>

~自立をめざして~

どんな重い障がいがあっても、地域の中で普通に暮らしていくこと、そのような社会を目指すために、静岡県富士市で子どもの家族たちが立ち上がり、ゼロから作り上げた通所施設があります。その過程を5年間にわたり追った映画が「普通に生きる~自立をめざして~」です。今回、平成24年度地域医療に係る県民共同事業補助金をいただき、宇都宮美術館で上映会を開催することになりました。

当日はプロデューサーの貞末麻哉子さんのお話もあります。

関心を持つ方が増えることは力になります。皆様のご来場をお待ちしています。

ひばりクリニック院長 高橋 昭彦

【日時】平成25年3月20日(水・祝日)

【場所】宇都宮美術館 講義室 宇都宮市長岡町1077 TEL.028-643-0100

【入場無料】 ※お申込み多数の場合は先着順とさせていただきます。

【時間】開場 13:30~ 上映 14:00~(上映時間約90分)

※上映終了後、貞末麻哉子プロデューサーによる講話あり

●お申込みは当クリニックHPもしくは右記まで.....【主催】ひばりクリニック(担当:綱川・星)宇都宮市新里町丙357-14 TEL.028-665-8890 FAX.028-665-8899



12月16日(日)に「うりずんクリスマス会」(独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業)を行いました。去年までは、うりずん内で数回に分けて行っていました。しかし、利用者の方も増えてきたので今年から会場を移して「とちぎ健康の森」多目的ホールで行いました。

クリスマス会には、うりずんの利用者様や保護者様はもちろん、「NPO法人 だいじょうぶ」や「認定NPO法人 サバイバルネット・ライフ」のお子様や保護者様、たくさんの方のボランティアの方が来られて、大賑わいでした。

1部では、東京から招待した人形劇団「小さいお城」の演目に子供も大人も釘づけでした。劇団の方は、たった2人で役もこなされていて、「さすがプロ!」といった感じでした。演目終了後に、今年うりずんの新しい仲間になった5名の方に前に出てきてもらい、劇団の方にプレゼントを渡していただきました。その後、みんなで写真撮影です。人数が多かったので、みんなで寄り添って、なんとか写真におさまりました。

2部は、サンタとトナカイがやってきて、みんなにプレゼントを配ってくれました。中には、リアルすぎるサンタに驚いて泣き叫んでしまうお子様も。途中から栃木のゆるキャラのとちまるくんも遊びに来て、会場を盛り上げてくれました。その後、みんなでハンドベルをしたり、じゃんけん大会やビンゴ大会をして大盛り上がりでした。



▲着ぐるみ組

2部終了後は、レストランへ移動して、軽食を摂っていただきました。

●じゃんけん大会等の景品を寄附していただいた方々 (敬称略)

日本栄養給食協会/㈱キープキャリアール/植木医院/おかべこどもクリニック/富塚メディカルクリニック/認定NPO法人 サバイバルネット・ライフ/女性農業士の皆様(磯川洋子・岩上初枝・宇賀神敏・手塚敏子・御子貝荒江・山口和子)/黒崎ヒロ/金田ミヨ/ひばりクリニック *ご協力ありがとうございました。<(_)_>



▲みんな釘付けでした



◀人形劇



▲うわぁサンタさんだ〜



▲とちまるくんが来たよ

当日は、何かと行き届かないことも多くご迷惑をおかけしましたが、無事にクリスマス会を終えることができたのは、みなさまの「クリスマス会を成功させよう」という思いがあったことだと思います。今年の反省を生かし、来年につなげていきたいと思ひます。

クリスマス会に関わったすべての方に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。(齋藤志津香)

🎄 来年も会おうね。

うりずんのクリスマス会にNPO法人「だいじょうぶ」さんと、サバイバルネット・ライフの子どもたちもお声がけいただき、楽しい一日を過ごさせて頂きました。

とちまるくんが大きな体をゆすって登場すると、可愛い歓声が上がりました。1階のレストランに用意されたケーキやごちそうをみんなでいただき、一足早いクリスマス会を堪能しました。あったかくて、心地よいクリスマス会でした。楽しかった。「みんな、来年も会おうね!」

(認定NPO法人 サバイバルネット・ライフ 仲村久代)

🎄 うりずんクリスマス会の感想

去る12月16日、待ちに待ったうりずんのクリスマス会に参加しました。「ひだまり」の子ども達にとっては全てが新鮮! 初めて見る人形劇、ビンゴ大会や立食パーティ...

気恥しそうにしていた中学生も実は「メッチャ楽しかった!!」という感想。美味しいごちそうを頬張る姿はまさにハイエナ(?)のよう。失礼な場面が多々あったこと、ここにお詫びいたします。帰りの車の中ではみんな、今までに見せたことがないような笑顔を見せてくれました。本当に、団体単独ではとても計画できないイベントにお招きいただき、子ども達はもちろん、スタッフにとっても思い出に残る一日となりました。

準備から片付けや報告の一切をきりもりしてくださったうりずんスタッフの皆さま、本当にお疲れ様。そしてありがとうございました。うりずん、サバイバルネットライフ、だいじょうぶの子ども達は今年も沢山の人の温かい愛情に支えられ、元気を蓄えていくことでしょう。そして子ども達の笑顔が私たちの大きな力になります。皆さまにとって幸いな年となりますようにお祈りいたします。(NPO法人 だいじょうぶ 畠山由美)

編集後記 巳年という新しい年を迎え、己を振り返りながら心機一転 頑張っていくと思います。 古橋芳子



理事 原澤直人

理事就任のお知らせ

皆様、はじめまして。この度、NPO法人うりずんの理事に就任いたしました、原澤直人と申します。

私は、ももとは「うりずん」の利用者の父親でした。重度心身障がい児本人にとっても、そして、その家族にとっても「安らぎ」であり「癒し」である、うりずんの理事に就任したことは本当に光栄な事です。「利用者の家族」という視点から、ますますうりずんが皆様にとって必要不可欠な存在に進化するよう、陰に日向に尽くして参る所存でございます。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。



うりずん通信・テレマカー

第 4 号 2013年1月20日発行

http://hibari-clinic.com/urizun/index.html

《編集・発行》 特定非営利活動法人 うりずん
〒321-2118 栃木県宇都宮市新里町丙357-14
TEL: 028-601-7733 FAX: 028-665-8899
Mail: urizun@hibari-clinic.com
《デザイン・印刷》 デザインスタジオ アクセス

NPO法人うりずん寄付者名簿 (敬称略) 平成 24 年 9 月 21 日～12 月 29 日 (到着分)

ご寄付 602,839 円をいただきました。ご支援ありがとうございました。

■一般寄付者 延べ 35 名 (うち匿名希望 1 名)

*掲載順は都道府県の50音順になっております。

茨城 水戸市 秋根 大 栃木 宇都宮市 安藤 正知 上澤 美樹 大塚 めぐみ 黒崎 元之 齋藤 好子 五月女 タネ 高橋 春美 高松 祐一	宇都宮市 手織MAYA教室 生徒一同 戸村 仁美 波木 幸子 (株)日本栄養給食協会 沼尾 成美 広田 則子 医療法人 福田こどもクリニック 本道 喜代 渡辺 恵美子 井上 登久子 深谷 祥子	塩谷郡 石下 和伸 植木医院 植木雅人 下都賀郡 在宅療養支援者の会 みぶの会 下野市 おかべこどもクリニック 三瀬 順一 栃木市 堀井 久江 日光市 斎藤 昌子 長嶋 須美子 沼尾 泰子	埼玉 さいたま市 (株)生きいき 代表取締役 柳寿 美恵 東京 江東区 後藤 聡 台東区 後藤 由紀 滋賀 長浜市 布施 隆治 福岡 福岡市 二ノ坂 保喜
---	---	---	--

■賛助会員 26 名 (うち匿名希望 3 名)

栃木 宇都宮市 安藤 江津子 安藤 正知 生野 裕子 菊池 房子 倉井 華江 竹内 美由紀	宇都宮市 田中 宣行 中村 悦子 沼尾 成美 橋本 美科 人見 智子 広田 則子 松江 比佐子	宇都宮市 村野 佳子 渡辺 ミヤ 塩谷郡 佐滝 邦夫 栃木市 福本 佳之 日光市 小田切 直美 斎藤 昌子 須佐 佳子	東京 新宿区 松本 豊正 石川 小松市 榊原 千秋 岐阜 岐阜市 矢嶋 茂裕
---	---	---	---

■団体会員 3 団体

栃木 宇都宮市 (有)総合衣料カワシマ 代表取締役 川島正浩	宇都宮市 手織 MAYA 教室 生徒一同 下野市 つるかめ診療所
-----------------------------------	-------------------------------------

ご支援のお願い

事務処理上の関係で大変恐縮ですが、必ず賛助会員・寄付申込書をうりずん宛にFAXまたは郵送でお送りください。

用紙はホームページ (http://hibari-clinic.com/shiryo_box/file/urizun_kifu.pdf) に掲載しております。(または、FAXでご連絡いただければ、用紙を郵送いたします。)

入金ならびに申込用紙をこちらで確認できた後に、領収証をお送りさせていただきます。

【記入上のご注意】

必ず、申込者のお名前、ご住所、申込内容ならびに金額、匿名希望について記入していただきますようお願い申し上げます。

○賛助会員のお申し込みの場合

個人年会費 または 団体年会費 のどちらかを選択してください。

○一般ご寄付のお申し込みの場合

- ① 一般寄付 (使途自由) ② スロープ車うりぼう号の購入
 - ③ 子どもと家族のための地域拠点整備
 - ④ 外出支援 (修学旅行など)
- の中から一つを選択してください

【各種振込先のご案内】

*振込み手数料は別途ご負担をお願い致します。

ゆうちょ銀行<ゆうちょ銀行からのお振込み>

口座番号：00110-4-441471

口座名：特定非営利活動法人うりずん

<ゆうちょ銀行以外からのお振込み>

○一丸店 (ゼロイチキョウ店) 当座：0441471



おいしいもの紹介

「どらやき」

うりずん通信テレマカシーとなりましてからは、初登場のおいしいもの紹介です。

今回は、明治五年創業の老舗、マスクンの名物、「どらやき」です。

伝統のふっくらもちも

ちの皮の中に、北海道十勝産の小豆を

ゆっくり炊いたあんがたっぷり。頬張ると、あんこの

うまみがじわっと口に広がり、至福のひととき

が訪れます。どらえもんにも食べてもら



いたい逸品です。

月1回は買いに行くお気に入りですが、夕方には「売り切れ」なんてこともあります。秋冬は、中に栗の入った「栗どら」が季節限定で登場するのも楽しみです。

【お店情報】

御菓子司 榎金 (マスクン)

・宇都宮市戸祭元町

・JR宇都宮駅ビルにも販売コーナーあり

*このコーナーは、各地のおいしいものを、主観的なコメントでご紹介するものです。随時、情報やレポートは募集いたしますが、採否はお任せください。(高橋 昭彦)

NPO法人うりずんでは
通信発行を支援して下さる
協賛企業様を随時募集しております。

「うりずん通信・テレマカシー」は年4回の発行となります。1回の発行費用に、印刷・郵送代などで15万円ほど必要となります。

そこで、広告代として通信発行を支援していただける協賛企業様を募集いたします。次号掲載のご希望の方は、3月中旬までにNPO法人うりずんまでご連絡ください。皆様方のご協賛・ご支援を宜しくお願い申し上げます。

看護師募集中

●うりずんでは、看護師を募集しております。障がい福祉分野を経験された方やこれから経験したい方で、うりずんの事業に関心のある方……是非うりずんで一緒に働きませんか!?

事業内容

医療的ケアが必要な子どものレスパイトケア、ホームヘルプなど。訪問看護に関心のある方もご一報下さい。詳細はうりずんまでお問い合わせください

連絡先▶ ☎028-601-7733 (水・日・祝祭日はお休みです)

第17回「在宅ケアネットワーク栃木 総会・シンポジウム」開催のお知らせ

日時 平成25年2月11日(月・祝) 10:00~15:30 (9:30 開場)

会場 自治医科大学 地域医療情報研修センター 大講堂

テーマ 在宅への流れ ~栃木県の今、そして今後~ 挑戦です「在宅医療・在宅ケアの先進県を目指して!」

《メッセージ》

平成24年、診療報酬と介護報酬が同時改定され、「医療と介護の役割分担・連携強化、在宅医療の充実」がその重点課題となっています。キーワードは「在宅」と「連携」です。在宅ケアネットワーク栃木は、これまで先進的にこれらのテーマを取り上げ推進してきましたが、今後はこれらを県全体でどのように実践して行くかが課題となります。

下野新聞「超高齢化社会2025年問題取材班」による一連の特集記事は、県下現状の理解と県民の意識変革に大いに影響をもたらしたようです。「2025年(平成37年)のあるべき医療・介護の姿」を念頭に、栃木県の今後はどう流れて行くのか? どう進めて行くのか?

挑戦です「在宅医療在宅ケアの先進県を目指して!」

*第17回大会長 粕田 晴之(栃木県立がんセンター)

10:00 開会・挨拶

佐々木 英昭(在宅ケアネットワーク栃木 事務局長)

10:15 基調講演Ⅰ「在宅ケア 栃木県の現状と可能性

~長期連載『終章を生きる』を取材して~

山崎 一洋さん(下野新聞社編集局 2025年問題取材班)

(司会) 趙 達来さん(真岡西部クリニック)

11:00 基調講演Ⅱ「在宅ケアのつながる力~

『暮らしの保健室』で見えてきたこと~

秋山 正子さん(白十字訪問看護ステーション)

(司会) 高橋 昭彦さん(ひばりクリニック)

12:00-12:40 一休憩・昼食

12:40-13:00 アピールの時間(20分間)

13:00 シンポジウム

「栃木県の今後、在宅医療・在宅ケアの先進県を目指して!」

小川 俊彦さん(栃木県保健福祉部保健福祉課)

前原 操さん(栃木県医師会 副会長)

河野 順子さん(栃木県看護協会 会長)

池澤 育子さん(とちぎケアマネジャー協会副会長)

仁平 明美さん(栃木県ホームヘルパー協議会会長)

岩淵 博史さん(NHO 栃木病院 歯科口腔外科)

大澤 光司さん(栃木県薬剤師会 副会長)

粕田 晴之さん(栃木県立がんセンター 緩和医療部)

(司会) 太田 秀樹さん(医療法人アスミス)

15:30 主催者・世話人挨拶、次期大会世話人挨拶

*会場で、ポスター発表や活動アピールをすることができます。

事前に事務局までご相談ください。

【参加】 大会参加費(兼)年会費

一般▶1,000円、学生▶500円

(会員でない方は、当日会場で入会手続きをお願いします。定員540名)

*当日参加も可能ですが、円滑な大会運営のため「事前申込み」にご協力ください。

【昼食】 弁当お茶つき 1000円(要 申込み)

【締切】 2013年1月31日

【郵便振替】

記号番号 00180-1-418778

加入者名 在宅ケアネットワーク栃木

*通信欄に、申込者住所、参加者全員の氏名、弁当の数を書き、合計額をお送りください。

*当日名札を準備します。

【連絡先】 在宅ケアネットワーク栃木事務局

〒328-0012 栃木市平柳町2-1-38

(学校法人)産業教育事業団内

電話・FAX: 0282-29-1050

E-mail: carenet@cc9.ne.jp

http://www.cc9.ne.jp/~carenet/

うりずんの仲間たち

名前: 瓦井 尊(かわらい・たける)くん

学年・年齢: 小学5年生

好きなこと: お友達と遊ぶこと、学校に行くこと、

ドライブ(特に高速道路を走行すること)、フライドポテト、焼肉、ごませんべいの匂いがお気に入り

嫌いなこと: 顔を洗ったり、拭かれること、

頭を洗うこと、怖そうな音楽は苦手

うりずんでどんなところ?: お友達と会って楽しく遊べて、うりずんのみなさんがやさしいので安心できる場所

最後にメッセージ: うりずん 大好き~♪



名前: 植木貴大(うえき・たかひろ)さん

家での呼び方は、たかさん、たーさん、たー、たーぼー...少し前までは、ほっぺたがふっくらしていたので、「ぶー」と呼ばれていました。毎日名前が変わります。

年齢: 18歳

好きなこと: 鈴を鳴らす。黄色い色が好き

広告の紙をくしゃくしゃにする。(紙質に好みがあり、気に入らないとポイする)・・・でも、一番好きなのは、誰かとふれ合うことです。

嫌いなこと: 冷たいもの(体の中に入るのはもちろん、触れるものはすべて)、大きな音・・・でも、一番嫌いなのは、誰かのどなり声です。

うりずんってどんなところ?!: 行きの車の中で、日光の山々が見えてくる頃、顔がうれしそうにほころびます。帰りの車の中では、一人語りと声を出して思い出し笑い?をしています。その様子を見てると何となくうれしくなります。(母)

最後にメッセージ: 今度、叔父さんになります♡。小さい子の相手はまかせて下さい。うりずんで慣れていきます!(?)みんなが楽しそうに穏やかな笑顔でいてくれることがとても嬉しいことなのです。

親にしてみれば、安心して預けることができるということがとても大切なことです。大変でしょうが、これからも職員の皆様、よろしくお願ひします。(母)

